

★ これだけはぜひ守りましょう! ★

安全運転のために

★腰ベルトは

いっぱいひきだして腰骨の位置にピッタリと装着しましょう。



腹の位置にかけると万
のとき身体にくいこみ危
険です。

★ヘッド・レストの位置は

ヘッド・レストとの間にはぎりこぶしの幅以上あけないようにしましょう。

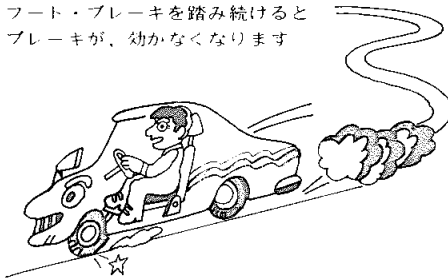


ヘッド・レストとの間
隔が多いと万のとき
危険防止に役立ちませ
ん。

★長い坂道を下る場合は

エンジン・ブレーキを活用しましょう。

フット・ブレーキを踏み続けると
ブレーキが、効かなくなります

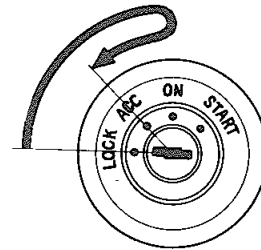


★ エンジン・スイッチをLOCKの位置にしないでください。
ハンドルがロックされているとハンドルがきれなくなり危
険です。

★エンジンを停止して移動する場合は

(けん引される場合など)

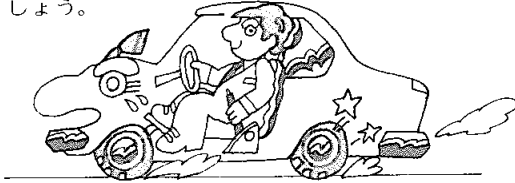
エンジン・スイッチは一度ONにしてからACC
の位置にしましょう。



LOCKの位置
にして万…ハン
ドルがロックさ
れているとハン
ドルがきれなく
なり危険です。

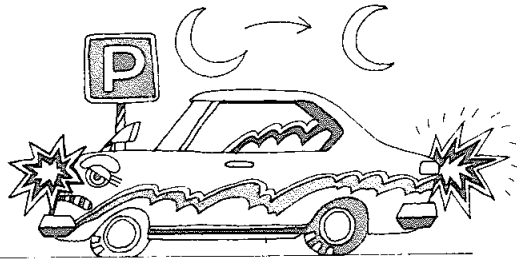
故障しないために

★パーキング・ブレーキ・レバーは
走行する前に必ず確認にもとの位置までもとし、
インジケーター・ランプが消灯するのを確かめま
しょう。



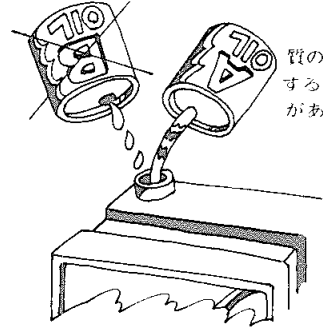
ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキ
が効かなくなります。

★ハザード・ウォーニング・ランプは
非常の場合以外は使用しないでください。
1時間以上の連続使用はやめましょう。寒い時は
使用可能時間が短くなります。



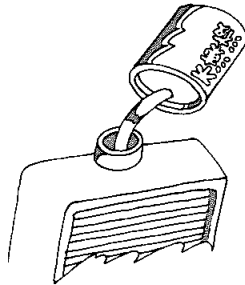
長時間使用はバッテリーあがりの原因になります。

★オイルの補給は
同品質かまたはそれ以上のオイルを使用しま
しょう。



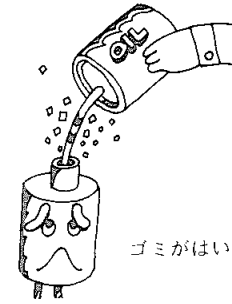
質の異なったオイルを補給
すると性能が低下する恐れ
があります

★寒冷時になる前にラジエーターには
気温に応じた適当な濃度の不凍液を入れましよう。



不凍液を入れないと水が凍り
エンジンが破損します。

★ブレーキフルードを補給するときは

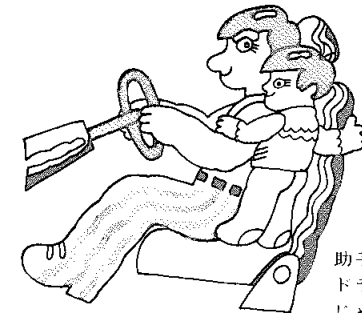


タンク内にゴミがはいらな
いように充分注意しましよ
う。

ゴミがはいるとブレーキは効かなくなります。

お子様を乗せるとき

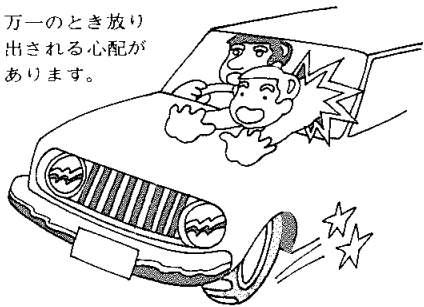
★なるべく保護者と一諸にリヤ・シートにすわ
せましよう。
助手席ではドライバーのじゃまになり大変危険で
す。



助手席では
ドライバーの
じゃまになります。

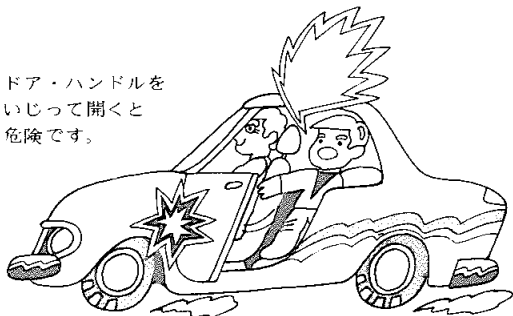
★必ずズリヤ・シートにすわらせましよう。

万一のとき放り出される心配があります。



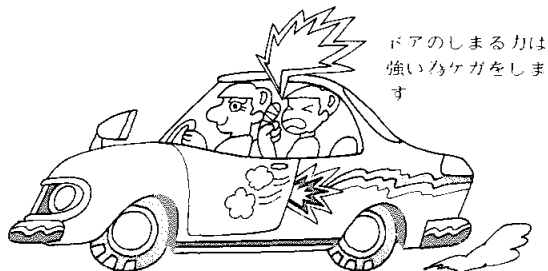
★ドア・ロックは確実にしましよう。

ドア・ハンドルをいじって開くと危険です。

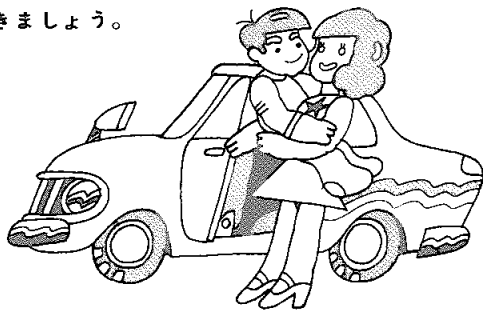


★ドアの開閉で手をはさまないようにしましよう。

必ずおとながドアの開閉をしましよう。



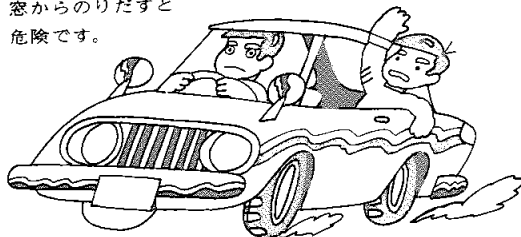
★車から離れるときは、こどもを一緒に連れてゆきましよう。



思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓の開閉はおとなの手でしましよう。

窓からのりだすと危険です。



緊急処置

★踏切りなどで始動できなくなったときは、スターターで抜け出しましよう。

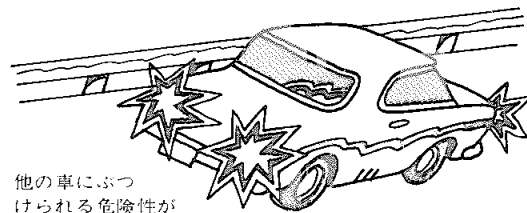
それでもだめなときは踏切に装備されている非常ベルを押すか、保安災筒で合図してください。

大きな事故を起す危険性があります。



★万一、故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させます。



他の車にぶつけられる危険性があります。

★遠出して万一故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、あなたの車の最寄りの取扱販売店へ連絡しましよう。

